

「つく、きえる」参考資料のご案内

新国立劇場でのご観劇前に作品に対する理解の一助として、また、観劇後の感動をさらに深めるために、5階情報センター閲覧室にてご覧いただける参考資料を紹介します。ぜひお気軽にお立ち寄りください。

開室時間：10:00～18:00 月曜休室（祝休日及び主催公演日は他曜日に振替）

過去の公演プログラム

2007/2008 SEASON **昔の女** (2008.3) 『つく、きえる』の作者シメルプフェニヒ新国立劇場初登場作品。

参考図書

<作家関連>

アラビアの夜／昔の女 ローラント・シメルプフェニヒ＝著／大塚直＝訳／論創社 2012年発行

『アラビアの夜』—それは、あるマンションの何気ない日常空間のはずだった。2人の女を訪れる2人の男と管理人。

いつもの現実的な世界に、象徴的なイスラムの幻想空間が入り込む。ファンタジーとリアル境界が融解する。

『昔の女』—3人家族の父親のもとに、突然昔の恋人が現れた。彼女の存在は、父親に忘却していたはずの記憶

を想起させる。父親の揺れる心理は、やがて全員に伝播するように、崩壊への幕をあける。

ドイツ現代戯曲選 18 前と後 ローラント・シメルプフェニヒ＝著／大塚直＝訳／論創社 2006年発行

39名の男女を登場させ、その多様な文体とプロットに支配されない断片的な場面の展開で日常と幻想を描く。

Deli 第6号 沖積舎 2006年発行 『昔の女』翻訳戯曲収録。

Die Frau von früher 独語 Roland Schimmelpfennig＝著／Fischer 2004年発行 『昔の女』原著。

Die Frau von früher 独語 2004年 ブルク劇場 『昔の女』公演プログラム。

<雑誌>

STÜCK-WERK 3 2001年発行 独語

「Theater der Zeit」別冊。現代のドイツ語圏の劇作家40人をその作品とともに紹介。シメルプフェニヒも収録。

Theater heute 2004年10月号 独語 “Die Frau von früher”(『昔の女』)収録。ウイーンでの初演評付き。

<ドイツ演劇関連>

演劇インタラクティブ 日本×ドイツ 谷川道子・秋葉裕一＝編／早稲田大学出版部 2010年発行

世代、問題意識、専門領域を異にする十人の論者が、「演劇」をめぐって問いかけあい、語りあい、切り結んだ考察の軌跡。

ドイツ現代演劇の構図 谷川美智子＝著／論創社 2005年発行

アクチュアリティと批判精神に富み、つねに私たちに刺激しつづけるドイツ演劇。その豊かで深い森に遊ぶための恰好の道案内の書。

知の劇場、演劇の知 岡室美奈子＝著／ペリかん社 2005年発行

欧米演劇・舞台芸術の見取り図を、国や言語の壁を越えて俯瞰的・複眼的に呈示した刺激的演劇論。拡散し多様化した演劇のありように輪郭を与え、その可能性を探る。第一線で活躍する欧米演劇研究者による「知」の結晶。